取扱説明書

LED LCDモニター

（LEDモニター*）

このたびはLG製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

お読みになったあとは保証書と共に大切に保管してください。

34WR55QC　34BR55QC　34WR55QK　34BR55QK

*LG の液晶モニターはLED バックライトを採用 した LCD 製品です。

www.lg.com

Copyright © 2023 LG Electronics Inc. All Rights Reserved.

日本語

目次

ライセンス 3

オープンソースソフトウェアのお知らせ 4

組み立てと準備 4

- サポートされているドライバーとソフトウェア 5
- 製品とボタンの説明 5

OSDジョイスティックの使用方法

- モニターの持ち運び 6

テーブルへの設置
スタンドの高さの調整
角度の調整
ケンジントン（Kensington)ロックの使用
壁掛け金具を取り付ける
壁への取り付け

モニターの接続 11

- PCに接続する 11

HDMI接続
DisplayPort接続

- AV機器の接続 12

HDMI接続

- 周辺機器の接続 13

USBデバイスの接続
ヘッドホンを接続する

ユーザー設定 14

- メインメニューの表示 14

メインメニューの機能
Menu設定
クイック設定
入力
画質
全般

困ったとき 26

製品仕様 29

- 工場出荷時対応モード（プリセットモード、PC） 30
- HDMI タイミング（映像） 31

ライセンス

サポートされているライセンスは、モデルによって異なる場合があります。ライセンスの詳細については、*www.lg.com* を参照してください。

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interfaceという用語、HDMIのトレードドレスおよびHDMIのロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc.の商標または登録商標です。

MaxxAudioおよびその他のMAXXの商標は、Waves Audio Ltd.の商標および/または登録商標です。

SuperSpeed USB Tridentロゴは、USB Implementers Forum, Incの登録商標です。

オープンソースソフトウェアのお知らせ

本製品に実装されているGPL、LGPL、MPLおよびその他のオープンソースライセンスに基づく開示義務を有するソースコードの入手は *http://opensource.lge.com /*のWebサイトをご覧ください。
ソースコードと共に、該当するすべてのライセンス内容および著作権表示をダウンロードすることができます。また、弊社は有料でCD-ROMによりオープンソースコードを提供しています。料金にはCD-ROMの代金、送料、取扱手数料が含まれます。ご希望される場合は、*opensource@lge.com* まで電子メールでお問い合せください。
本サービスは、弊社が本製品を販売後3年間、本情報を受け取られたすべての方に対して有効です。

組み立てと準備

⚠ 注意

- 製品を安全に長くお使いいただくため、付属品以外のアクセサリは使用しないでください。
- 付属品以外の使用による破損や負傷は、保証の対象外になります。
- 弊社推奨品以外の汎用ケーブルを使用すると、画面が映らなかったり画像にノイズが発生する場合があります。
- 本書のイラストは一般的な手順を図解したものであり、実際の製品とは外観が異なる場合があります。
- 製品を組み立てる際、ネジに油や潤滑油などを使用しないでください。製品が故障する可能性があります。
- ネジを留めるときに過剰な力を加えると、モニターが損傷するおそれがあります。過度な締め付けによって、破損が生じた場合は保証の対象外になります。
- モニターを上下逆さにした状態でスタンドベースをつかんで持ち運ばないでください。モニターがベースから外れて落ち、けがをするおそれがあります。
- モニターを持つ場合、画面に触れないようモニターの背面を持ち、画面に傷が付かないようにしてください。

ヒント

- イラストはイメージです。実際のものとは若干異なる場合があります。
- この取扱説明書に記載されているすべての情報および仕様は、製品品質向上の目的で事前の予告なしに変更されることがあります。
- 付属品以外の部品をお求めになる際は、本製品を購入した販売店またはパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- 付属の電源コードは、地域によって異なります。

サポートされているドライバーとソフトウェア

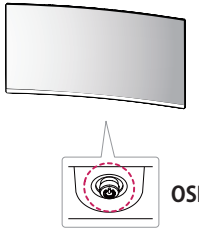
本製品はLGエレクトロニクスが提供する、モニターをより便利に活用できるソフトウェアを使用することができます。
ソフトウェアは弊社ホームページよりダウンロードしてください。

ドライバーとソフトウェア	インストールの優先順位
モニタードライバー	推奨
OnScreen Control	推奨 (34WR55QC/34BR55QC)
LG Switch	推奨 (34WR55QK/34BR55QK)
Dual Controller	オプション

① LGエレクトロニクスのホームページ(*www.lg.com*)にアクセスします。
② ページ最上部の[サポート]から[ソフトウェアダウンロード]をクリックします。
③ [製品の型番、またはモデル名を入力してください]に、モデル番号(製品の型番)を入力します。
④ 本製品に対応するソフトウェアまたはデバイスドライバが表示されるので、使用しているOSをご確認の上、ファイルを選択してください。

※ ホームページ(*www.lg.com*)のダウンロードの手順、レイアウト、構成は変更される場合があります。

製品とボタンの説明



OSDジョイスティックの使用方法

OSDジョイスティックを指で押したり、上下左右に動かすことでモニターの各種機能を簡単に操作できます。

基本機能

		**電源オン**	OSDジョイスティックを指で押すと、モニターの電源がオンになります。
		**電源オフ**	OSDジョイスティックを5秒以上指で押し続けると、モニターの電源がオフになります。
	◄/►	**音量コントロール**	OSDジョイスティックを左右に動かすことで音量を調整できます。

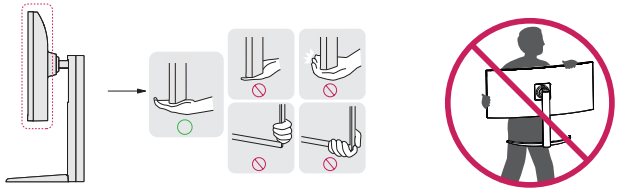
ヒント

- OSDジョイスティックはモニターの底面に付いています。

モニターの持ち運び

モニターを持ち運ぶ場合は、モニターの損傷や負傷を防いで安全に運搬できるように、以下の指示に従ってください。

- モニターの梱包に使用されていた箱や梱包材に再梱包してモニターを運ぶことをおすすめします。
- モニターを持ち運ぶ前に、電源コードおよびその他すべてのケーブルを取り外してください。
- モニターのフレームの側部および下部をしっかり持ち、液晶パネル(画面)には触れないようにしてください。
- モニターを持ち運ぶ際は、液晶パネル(画面)に触れないようモニターの背面を持って、画面に傷を付けないようにしてください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターに強い衝撃を与えたり、過度な振動を与えないでください。
- モニターを持ち運ぶ際は、モニターを垂直にして持ち、横にしたり左右に傾けたりしないでく ださい。

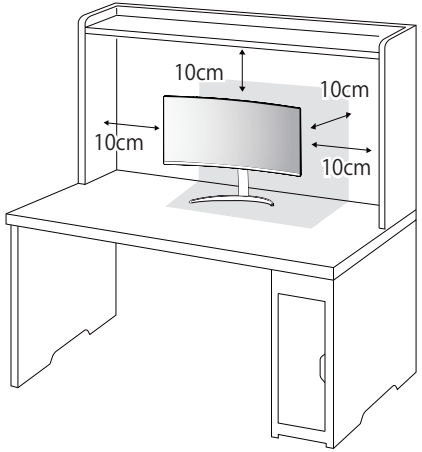


⚠ 注意

- 液晶パネル(モニターの画面)には触れないでください。
  - 画面に傷が付いたり、液晶が損傷する恐れがあります。
- モニターの底面にOSDジョイスティックがあるため、スタンドを使用しないとモニターの転倒によって、モニターの破損や負傷の原因になります。また、OSDジョイスティックが故障する原因になります。

テーブルへの設置

- モニターを持ち上げ、直立させた状態でテーブルの上に置きます。十分な通気性を確保するため、背後および周囲10cm 以上の空間を空けて設置してください。

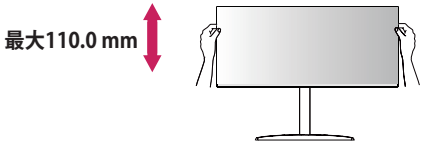


⚠ 注意

- モニターの移動や設置は、電源コードを抜いてから行ってください。感電のおそれがあります。
- 電源は、AC100V (50/60Hz) のコンセントを使用してください。 指定以外の電源を使用すると火災の原因になることがあります。
- 製品付属の電源コードを使用して、アース付きコンセントに接続してください。

スタンドの高さの調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 モニターの左右背面側に手を添えて高さを調整します。(液晶パネルには触れないようにしてください。)



警告

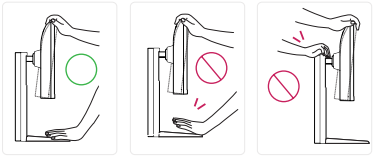
- 画面の高さを調節するときは、スタンドネックをつかまないでください。手や指をはさんで負傷をする恐れがあります。

角度の調整

1 スタンドベースに取り付けたモニターを直立させた状態にします。
2 画面の角度を調整します。
画面を前後(-5°から+20°)に調整して、見やすい角度にします。

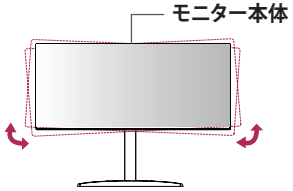
警告

- 画面を調整するときは、下のイラストのようにモニターのフレームの下部をつかまないでください。指をはさむおそれがあります。
- モニターの傾きを調整するときに、画面の領域に触れたり、押したりしないように注意してください。



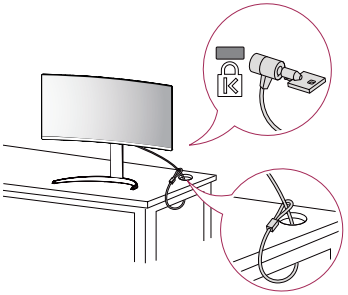
ヒント

- モニターは左右に少し(最大３°)傾けることができます。画面が水平になるように微調整してください。



ケンジントン（Kensington)ロックの使用

ケンジントンロック用のスロットは、モニターの底部にあります。
取り付けおよび使用方法については、ケンジントンロックの取扱説明書を参照するか、ケンジントン社のホームページをご覧ください。
ケンジントンセキュリティーシステムケーブルでモニターをテーブルに固定します。
ケンジントン社ホームページ：*http://www.kensington.com*



ヒント

- ケンジントンロックは別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。

壁掛け金具を取り付ける

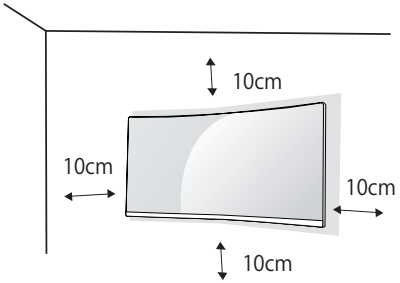
壁にモニターを取り付けるには、モニターの背面に壁掛け用金具（非同梱です。別途ご用意ください。）を取り付けます。

ヒント

- 壁掛け金具は別売です。
- 詳細については、壁掛け金具付属の取扱説明書をご覧ください。また、取り付けに必要な部品は壁掛け金具に付属しています。
- 壁掛け金具に付属のネジまたはVESA規格に適合するネジを使用してください。
- 定められた長さを超過したネジを使用すると、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- モニターを壁に設置する前に、スタンドの取り付け手順と逆の手順でスタンドを取り外してください。

壁への取り付け

十分な通気性を確保するため、背後および周囲10cm 以上の空間を空けて設置してください。設置に関しては、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。



モニターを壁に取り付ける場合は、壁掛け金具(非同梱です。別途ご用意ください。)をモニターの背面に取り付けます。
壁掛け金具がモニターおよび壁にしっかりと固定されていることを確認してください。

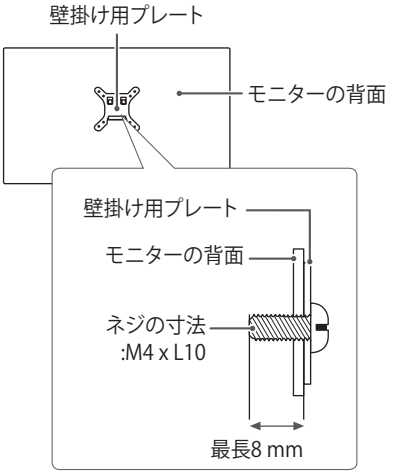
壁掛け(mm)	100 x 100
標準のネジ	M4 x L10
必要なネジの数	4

ヒント

- VESA規格以外のネジを使用すると、モニターの破損や落下の原因になるおそれがあります。対象となるネジ以外を使用したことによる事故については、保証の対象外となります。
- 壁掛けに必要な部品やマニュアルは、壁掛け金具に付属しています。設置に関する詳細は、壁掛け金具のマニュアルを参照してください。
- 壁掛け金具は別売です。お求めになる際はパソコン専門店、家電量販店、通販サイトにお問い合わせください。
- ネジの長さは取り付ける壁の状態や素材によって異なります。適切な種類と長さのネジを使用してください。

注意

- 移動や設置は先に電源コードと信号ケーブルを外してから行ってください。ケーブルを取り外さずに移動、設置すると落下してケガや感電のおそれがあります。
- モニターは天井や傾斜面には取り付けないでください。落下して重大なケガをする恐れがあります。
- 壁掛け金具を使用する際は壁掛け金具として付属しているもの、または、適合するネジを使用してください。
- ネジが標準の長さを超過する場合、モニターの内部が損傷する恐れがあります。
- 正規品以外の壁掛け金具を使用したり、ネジの締め過ぎ等による損傷は保証の対象外となりますので注意してください。
- 取り付けの不備による製品の損傷または落下は保証の対象外となりますので十分ご注意の上、作業してください。
- VESA規格に準拠した壁掛け金具とネジを使用してください。不適切な付属品の使用、または誤った使用方法による損傷は、本製品の保証の対象外になります。
- 壁掛け用のネジ穴の深さは8mmです。


壁掛け用プレート
モニターの背面
壁掛け用プレート
モニターの背面
ネジの寸法
:M4 x L10
最長8 mm

モニターの接続

• 実際の製品とは若干異なる場合があります。
OSDジョイスティックを押し、**[設定]** → **[入力]**の順に選択し、映像が出力される機器に接続した端子を選択します。

⚠ 注意

• 液晶パネルに触れないでください。映像が乱れることがあります。
• 映像の焼き付きを防ぐため、スクリーンセーバーなどを使用して、画面に同じ画像を長時間表示しないでください。

ヒント

• 電源コードをコンセントに接続する際には、アース付きマルチソケットまたはコンセントをご使用ください。
• 本機が冷えた状態で電源を入れると、画面にちらつきが発生する場合がありますが、これは正常な動作です。通電して温度が上昇すれば、正常な状態に戻ります。
• 画面に赤、緑、または青の点が表示されることがありますが、これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

PCに接続する

• 本機は、プラグアンドプレイに対応しています。
* プラグアンドプレイ：PCに機器を接続して電源をオンにすると、設定や操作をしなくても、PCで認識してOSの標準ドライバがインストールされます。

HDMI接続

PCとモニターをHDMI端子でデジタル接続します。

⚠ 注意

• HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
• HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。
HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応していない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
• 推奨のHDMIケーブルのタイプ
  - ハイスピードHDMI®/™ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ケーブル

DisplayPort接続

PCとモニターをDisplayPort端子でデジタル接続します。

ヒント

- PCのDisplayPortのバージョンによっては、映像出力または音声出力に対応していないことがあります。
- 弊社推奨品以外のケーブルを使用すると、画面が映らない、画面にノイズが発生するなど、正常に作動しないことがあります。
- Mini DisplayPort出力を実装したグラフィックカードまたはPCと接続する場合はDisplayPort to Mini DisplayPortケーブルまたは、変換コネクタを使用してください。(ケーブル、コネクタは非同梱です。別途ご用意ください。)

AV機器の接続

HDMI接続

AV機器とモニターをHDMI端子でデジタル接続します。

注意

- HDMI-DVIやHDMI-DisplayPortなどの変換ケーブルまたは変換コネクタを使用した場合、互換性の問題が発生する場合があります。
- HDMI ロゴの付いた規格が保証されたHDMIケーブルをご使用ください。HDMI Licensing Administrator, Inc. で認証されていないHDMIケーブルやハイスピードに対応していない標準HDMIケーブルを使用すると、正常に動作しないことがあります。
- 推奨のHDMIケーブルのタイプ
  - ハイスピードHDMI®/™ケーブル
  - イーサネット対応ハイスピードHDMI®/™ケーブル

周辺機器の接続

USBデバイスの接続

USBダウンストリーム端子は、USBハブとして機能します。

ヒント

- Windowsは最新のアップデートプログラムを適用してから接続することをお勧めします。
- 周辺機器は非同梱です。別途ご用意ください。
- キーボード、マウスなどのUSBデバイスをUSBダウンストリーム端子に接続できます。
- ダウンストリーム端子に接続したデバイスの充電が可能です。充電速度はUSBデバイスによって異なります。
- モニターのダウンストリーム端子を使用する場合は、PCのUSB端子とモニターのアップストリーム端子をUSB Type-Cケーブルまたは、USB Type-C-A変換ケーブルで接続してください。
- モニターのアップストリーム端子とPCのUSB Type-C端子をUSB Type-Cケーブルで接続した場合、モニターのダウンストリーム端子はUSB2.0として動作します。
- モニターのアップストリーム端子とPCのType-A端子を変換ケーブルで接続した場合、モニターのダウンストリーム端子はUSB3.0として動作します。

⚠ 注意

USBデバイス使用時の注意事項

- 自動認識プログラムがインストールされているUSBデバイスや独自のドライバーを使用するUSBデバイスの場合、デバイスが認識されないことがあります。
- 一部のUSBデバイスは、サポートされていないか、正常に動作しないことがあります。
- 電源のあるUSBハブまたはハードディスクドライブを使用することをお勧めします。(供給電力が十分でない場合、USBデバイスが正しく認識されないことがあります。)

ヘッドホンを接続する

ヘッドホン端子(ミニプラグ) に、ヘッドホン、イヤホン、スピーカーなどを接続できます。

ヒント

- 周辺機器は非同梱です。別途ご用意ください。
- オーディオ用ミニプラグの形状はストレートタイプのプラグの使用をお勧めします。L字型のコネクタの場合、モニターの筐体と干渉して差しこめなかったり、他の端子をふさいでしまう場合があります。



L 型タイプ



ストレート タイプ
(推奨)

- PC および外部機器のオーディオ設定によっては、ヘッドホンおよびスピーカーの機能が制限されることがあります。

ユーザー設定

ヒント

- 実際のモニターのOSD（オンスクリーンディスプレイ）は、アップデート等により、本取扱説明書と多少異なる場合があります。

メインメニューの表示

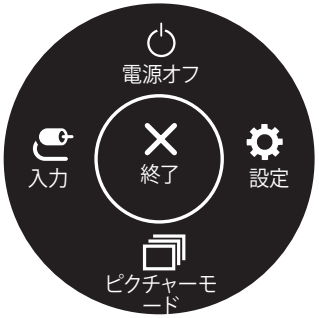
1 モニターの底面にあるOSDジョイスティックを押します。
2 OSDジョイスティックを前後（▲/▼）、左右（◄/►）に倒して各種設定を行います。
3 OSDジョイスティックをもう一度押すとメインメニューが終了します。



OSDジョイスティック

ボタン	メニューの状態		説明
	メインメニュー非表示時		メインメニューを表示します。
	メインメニュー表示時		メインメニューを終了します。 （長押しするとモニターがオフになります。 OSDがオンの場合を含め、いつでもこの方法でモニターをオフにできます。）
	◄	メインメニュー非表示時	モニターの音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[入力]**機能に移動します。
	►	メインメニュー非表示時	モニターの音量を調節します。
		メインメニュー表示時	**[設定]**機能に移動します。
	▲	メインメニュー非表示時	モニターの明るさを調節します。
		メインメニュー表示時	モニターをオフにします。
	▼	メインメニュー非表示時	モニターの明るさを調節します。
		メインメニュー表示時	**[ピクチャーモード]**機能に移動します。

メインメニューの機能



メインメニュー	説明
入力	表示させる入力端子を選択します。
電源オフ	モニターをオフにします。
設定	モニターの各種設定メニューを表示します。
ピクチャーモード	ピクチャーモードを設定します。
終了	メインメニューを終了します。

Menu設定

1 メインメニューの表示は モニター底面にあるOSDジョイスティックを押します。
2 OSDジョイスティックを右 (►) に倒して、**[設定]**を選択すると、OSDメニューが表示されます。
3 OSDジョイスティックを前後左右に倒して、カーソルを移動させて目的の設定項目を選択します。
4 目的の設定項目上でOSDジョイスティックを押すと、設定項目の表示や決定ができます。
5 OSDメニューを終了させる場合は、OSDジョイスティックを左(◄)に数回(OSDメニューの階層によります)倒します。



クイック設定 **入力** **画質** **全般**

ヒント

- : オン
- : オフ

クイック設定

設定 > クイック設定	説明	
明るさ	画面の明るさを調整します。	
コントラスト	画面のコントラストを調整します。	
音量	内蔵スピーカーまたはヘッドホン端子に接続した外部音声出力機器の音量を調節します。	
	ヒント • 音量メニューが表示されているときにOSDジョイスティックを▼の方向へ動かすと、**[ミュート]**/**[ミュートを解除]**が設定できます。	
色温度	お好みの色合いで表示することができます。	
	ユーザー設定	**[赤]**、**[青]**、**[緑]**で設定したお好みの画質を表示します。
	Warm[暖色]	映像の色合いを赤みのある6500Kの色温度に設定します。
	Medium[中間]	映像の色合いを7500Kの色温度に設定して、赤と青の間の色調に設定します。
	Cool[寒色]	映像の色合いを青みのある9300Kの色温度に設定します。
	マニュアル	お好みの色温度に微調整することができます。

入力

設定 > 入力	説明	
入力選択	各入力端子を選択します。選択した端子の映像を画面に出力します。	
自動入力切替	**[オン]**に設定すると、新たにケーブルを接続したときに、自動的に新しい入力端子に切り替わります。	
	オン	**[自動入力切替]**を有効にします。
	オフ	**[自動入力切替]**を無効にします。
アスペクト比	画面の縦横比を調整します。	
	全画面	映像信号の入力に関係なく画面全体に表示します。
	16:9	ビデオを16:9で表示します。
	4:3	ビデオを4:3で表示します。
PBP		PBP機能をオフにして、1つの入力を画面全体に表示します。
		PBP機能をオンにして、2つの入力を5:5の割合で表示します。
メイン/サブ画面切替	**[PBP]**モードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。	
メイン/サブ音声切替	**[PBP]**モードのメイン画面とサブ画面の音声を切り替えます。	

[PBP]

<table>
<tr><th>設定 > 入力</th><th colspan="6">説明</th></tr>
<tr><td rowspan="8">入力選択</td><td colspan="6">接続された2つの機器を1台のモニターに同時に表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">メイン画面入力選択</td><td colspan="4" rowspan="2">使用可能なPBPの組み合わせについては、以下の表を参照してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">サブ画面入力選択</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="2">PBP接続</td><td colspan="4">サブ画面（右）</td></tr>
<tr><td>HDMI 1</td><td>HDMI 2</td><td>DisplayPort</td><td>USB-C</td></tr>
<tr><td rowspan="4">メイン画面（左）</td><td>HDMI 1</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>HDMI 2</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>DisplayPort</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td><td>○</td></tr>
<tr><td>USB-C</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="5">アスペクト比</td><td colspan="6">画面の縦横比を調整します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">メイン画面アスペクト比</td><td>全画面</td><td colspan="4">映像信号の入力に関係なく、PBP画面のサイズに合わせて映像を表示します。</td></tr>
<tr><td>オリジナル</td><td colspan="4">映像信号入力の画面サイズで、PBP画面に映像を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">サブ画面アスペクト比</td><td>全画面</td><td colspan="4">映像信号の入力に関係なく、PBP画面のサイズに合わせて映像を表示します。</td></tr>
<tr><td>オリジナル</td><td colspan="4">映像信号入力の画面サイズで、PBP画面に映像を表示します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">PBP</td><td colspan="2"></td><td colspan="4">PBP機能をオフにして、1つの入力を画面全体に表示します。</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td colspan="4">PBP機能をオンにして、2つの入力を5：5の割合で表示します。</td></tr>
<tr><td>メイン/サブ画面切替</td><td colspan="6">[PBP]モードのメイン画面とサブ画面を切り替えます。</td></tr>
<tr><td>メイン/サブ音声切替</td><td colspan="6">[PBP]モードのメイン画面とサブ画面の音声を切り替えます。</td></tr>
</table>

画質

ヒント

- 設定できる**[ピクチャーモード]**は、HDR(High Dynamic Range)信号を表示している場合とSDR(Standard Dynamic Range=従来の映像)信号の映像を表示している場合で異なります。

[SDRの映像(通常の映像)表示時のピクチャモード]

設定 > 画質	説明	
ピクチャーモード	**ユーザー設定**	**[画像調整]**で設定した色合いを表示します。
	鮮やか	コントラスト、明るさ、シャープネスの値を高めます。鮮明な画質で表示します。
	HDR効果	通常の映像 (SDR) を HDR に近い画質で表示します。
	ブルーライト低減モード	画面表示を紙のような質感で表示するモードです。より明るく見やすい画質にしたい場合には、設定 メニューで**[明るさ]**の調節ができます。
	シネマ	映像観賞に適した画質で表示します。
	FPS	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。
	RTS	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	色覚調整	P 型およびD 型の色覚用のカラーモードです。赤色、緑色の表示を区別できるように配色されます。

[HDR信号の場合のピクチャモード]

設定 > 画質	説明	
ピクチャーモード	**ユーザー設定**	**[画像調整]**で設定した色合いを表示します。
	鮮やか	HDR の映像をより鮮やかに表示します。
	シネマ	HDR 対応映画および動画に最適化した画質で表示します。
	FPS	FPS(First Person Shooting) ゲームに最適化されたモードです。暗い映像のFPSゲームに最適化されたモードです。
	RTS	RTS(Real Time Strategy) ゲームに最適化されたモードです。
	ヒント • OS(Windows 10/ Mac)の設定によっては、HDRの設定が適切に操作できないことがあります。Windows 10/MacのHDRに関する設定のオン/オフを確認してください。 • グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、文字や写真の表示品質が正常に表示されない場合があります。 • グラフィックカードの性能によっては、モニターのHDRに関する機能が有効のときに、**[入力]**を変更したり電源をオンにすると、画面が点滅したりちらつきが発生する場合があります。	

設定 > 画質	説明		
画像調整	**明るさ**	画面の明るさを調整します。	
	コントラスト	画面のコントラストを調整します。	
	シャープネス	画面のシャープネスを調整します。	
	SUPER RESOLUTION+	**High**	最も強いレベルで超解像をかけ、画質を最適化します。高解像度ビデオやゲームに最適です。
		Middle	**[High]** と**[Low]** の中間レベルに超解像をかけ、画質を最適化します。SD画質の動画再生時などに適しています。
		Low	滑らかで自然な画像を表示するように画面を最適化します。静止画や、動きの少ない動画に最適です。
		オフ	超解像をオフにします。
		ヒント • この機能は解像度の低い映像を鮮明に表示する機能です。通常のテキストやデスクトップのアイコンなどを表示する場合、鮮明になりすぎることで、かえって見づらくなることがあります。	
	ブラックレベル	オフセットレベルを設定します。 • オフセット：映像信号の基準として、これがモニターで表示できる最も暗い色です。	
		High	映像信号の情報をそのまま表示します。
		Low	暗い部分をより暗くして、シャープな色合いで表示されます。
	DFC	明るさとコントラストを映像に合わせて自動的に調整します。	

設定 > 画質	説明		
ゲーム機能設定	応答速度	画面の速度に基づいて、表示される映像の応答速度を設定します。 標準的な環境の場合、**[Fast]**を使用することをお勧めします。 動きの速い映像の場合、**[Faster]**を使用することをお勧めします。**[Faster]**に設定すると、残像（オーバーシュート）が発生することがあります。その場合は、表示ソースに合わせて適切な速度に設定してください。	
		Faster	液晶パネルの応答速度が高速になります。
		Fast	液晶パネルの応答速度が中程度高速になります。
		Normal	液晶パネルの応答速度が少し高速になります。
		オフ	オーバードライブをオフにすると、応答速度は液晶パネルの基本速度になります。
	FreeSync (34WR55QC/34BR55QC)	AMD FreeSync ™ テクノロジー は、映像のフレームレートとモニターのリフレッシュレートを自動的に同期させる機能です。 フレームレートが一定でない映像 (ゲームなど) を表示したときに発生するティアリング (ちらつき) やスタッタリング (カクつき) を抑えることができます。 **⚠ 注意** • この機能を使用するには、対応APUを搭載したPCまたはGPUを搭載した グラフィックカードが必要です。 • FreeSyncはDisplayPort, HDMI いずれも対応します。 • 詳細な情報は、AMD社の公式サイトをご覧ください。(検索エンジンで「FreeSync」で検索してAMD社の公式サイトを参照してください。)	
		拡張	**[標準]**よりも広域なリフレッシュレートで動作します。ただし、ゲームをプレイ中にちらつきが発生する場合があります。その場合は、**[標準]**に設定することをお勧めします。
		標準	FreeSyncをこのモニターの標準的なリフレッシュレートに準ずる範囲で有効にします。
		オフ	FreeSync をオフにします。
	ブラック スタビライザー	見えづらい画面の暗い部分を明るく表示し、視認性を高めます。 **[High]**/**[Middle]**/**[Low]**/**[オフ]**の4段階で選択できます。 **[High]**に設定すると、暗い部分が見えやすくなります。**[Middle]**、**[Low]**に設定するに従い、明暗の差が大きくなり鮮明な画像表示になります。	

設定 > 画質	説明		
カラー調整	ガンマ	モード1、 モード2、 モード3	ガンマ値を補正します。 **[モード 1]**に設定すると中間色が明るく、**[モード 3]**に設定すると中間色が暗く表示されます。
		モード 4	ガンマ値の調整が必要ない場合は、**[モード 4]**を選択してください。
	色温度	お好みの色合いで表示することができます。	
		ユーザー設定	**[赤]**、**[青]**、**[緑]**で設定したお好みの画質を表示します。
		Warm[暖色]	映像の色合いを、赤みのある6500Kの色温度に設定します。
		Medium [中間]	映像の色合いを7500Kの色温度に設定して、赤と青の間の色調に設定します。
		Cool[寒色]	映像の色合いを、青みのある9300Kの色温度に設定します。
		マニュアル	お好みの色温度に微調整することができます。
	赤/緑/青	RGB 各色の強弱を手動で設定します。	
	6色相環	6色相環（赤、緑、青、シアン、マゼンタ、イエロー）の色合い、彩度を調整して、より詳細なお好みの色を設定できます。	
		色合い	各色の色相を調節します。
		彩度	各色の彩度を調整します。指定色の値を大きな数値に設定すると、その色味が強くなり、小さな数値に設定すると、色味を失いグレーに近い色合いになります。
ピクチャーモード初期化	映像設定を初期化しますか？	No	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。
		Yes	初期設定（工場出荷時の設定）に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

全般

設定 > 全般	説明	
言語	OSD メニューなど、画面に表示される言語を選択します。	
SMART ENERGY SAVING	輝度補正アルゴリズムを用いて消費電力を抑えます。	
	High	**[SMART ENERGY SAVING]**によって、より効率的に消費電力を抑えます。
	Low	**[SMART ENERGY SAVING]**によって、消費電力を抑えます。
	オフ	機能を無効にします。
	ヒント • 省エネの数値はパネルの種類やパネルの製造メーカーによって異なる場合があります。 • **[SMART ENERGY SAVING]**の設定が有効になっている場合、ソースの違いによって、モニターが暗くなったり明るくなったりします。	
ディープスリープモード	ディープスリープモードを**[オン]**に設定すると、待機状態時の消費電力を最小限に抑えます。	
	オン	**[ディープスリープモード]**を有効にします。
	オフ	**[ディープスリープモード]**を無効にします。
電源LED	**オン**	電源LEDが自動でオンになります。
	オフ	電源LEDをオフにします。ただし、モニターの電源を入れたときに起動を知らせるため一時点灯します。
自動スタンバイ	一定時間、表示されている映像に変化がない場合に自動的にモニターの画面をオフにする機能です。自動で画面がオフになるまでの時間を設定します。（**[8時間後]**、**[6時間後]**、**[4時間後]**、**[オフ]**）。	
入力互換性バージョン	入力互換性バージョンを、接続した外部デバイスと同じバージョンに設定します。 - DisplayPortおよびUSB-C の場合、HDR機能を使用するには1.4以上に設定してください。 - HDMI入力の場合、HDR機能を使用するには2.0以上に設定してください。	

設定 > 全般	説明		
Beep音	モニターに電源を入れた時、Beep音から生成された音を使用できるようにする機能です。		
	オン	モニターの**[Beep音]**を有効にします。	
	オフ	モニターの**[Beep音]**を無効にします。	
OSDロック	OSD の設定可能な項目を制限します。		
	オン	設定可能な項目を制限します。 **[クイック設定]**>**[明るさ]**/**[コントラスト]**/**[音量]** **[入力]**>**[入力選択]**/**[自動入力切替]**/**[アスペクト比]** **[全般]**>**[PBP]**/**[OSDロック]**/**[オープンソースソフトウェアライセンス] (34WR55QK/34BR55QK)**/**[表示情報]** 上記以外の項目を設定するときは、**[OSD ロック]** をオフにしてください。	
	オフ	使用環境で設定可能な項目すべてを設定できます。	
表示情報	次の情報が表示されます：**[電源投入時間合計]**、**[解像度]**		
オープンソースソフトウェアライセンス (34WR55QK/34BR55QK)	オープンソースソフトウェアの通知情報を確認できます。		
初期化	**設定をリセットしますか?**	**No**	リセットを行わず、メニュー選択に戻ります。
		Yes	初期設定 (工場出荷時の設定) に戻します。リセットを実行すると設定されていた項目がすべて初期化されますので、ご注意ください。

困ったとき

画面に何も表示されない	
画面に何も映らない	• 電源コードがコンセントに正しく接続されているかを確認してください。 • モニターの電源ボタンを押してモニターの電源が入っているかを確認してください。
電源がオン、電源ランプが点灯しているのに画面が映らない	• 接続機器が黒画面を出力している可能性があります。接続機器が正常に動作しているかを確認してください。
電源ランプが点滅している	• PC がスリープモードになっている可能性があります。マウスを動かすか、キーボードのいずれかのキーを押して、PC の省電力モードを解除してください。 • PC の電源が入っているか確認してください。
画面に**[推奨解像度での表示をおすすめします。映像がちらついたり、画面が正常に表示されない場合は、取扱説明書の「困ったとき」を確認してください。]**と表示される	• PC（グラフィック カード）から伝送された信号が、モニターの水平周波数または垂直周波数の範囲から外れている場合に表示されます。 • 本取扱説明書の「製品仕様」を参照して、OS 上で適切な周波数または解像度に設定してください。 • 変更方法は次ページのヒントを参照してください。
画面に**[信号が見つかりません。]**と表示される	• 信号ケーブルが接続されていないときに表示されます。PC またはモニターに正しくケーブルが接続されているかを確認してください。 • 入力が正しく選択されていない可能性があります。OSDジョイスティックを押してから左に倒して**[入力]**を選択して、映像が出力されている端子かを確認してください。
OS上でモニターが正しく認識しない	• 必ず弊社のウェブサイト(*www.lg.com*)からディスプレイのドライバーをインストールしてください。 • グラフィックカードがプラグアンドプレイに対応しているか確認してください。

一部のOSDメニューの設定ができない	
OSD で設定できない項目がある	• OSDがロックされています。**[設定]** > **[全般]**の順に選択し、**[OSDロック]**を**[オフ]**に設定します。

画面に残像が生じる	
モニターの電源を切っても残像が見える	• 静止画映像を長時間表示すると、画面が損傷して残像が生じることがあります。 • モニターを長時間使用する場合は、OS でスクリーンセーバーを設定して、長時間同じ画像、映像を映さないようにしてください。

画面表示が安定せずに揺れる。ゴーストが表示される	
画面がちらつく	• 選択した解像度がHDMI 1080i 60/50 Hz（インターレース）の場合、画面がちらつくことがあります。解像度を1080pまたは推奨解像度に変更してください。

ヒント

- **垂直周波数**：映像を表示するために、モニターは毎秒数十回画面を表示しなおします。1 秒間で画面が切り替わる回数を「垂直周波数」または「リフレッシュ レート」と呼びます。単位はHz です。
- **水平周波数**：横線1本を表示するためにかかる時間を「水平サイクル」と呼びます。1秒間で表示される横線の数は、1を水平サイクルで除算することにより計算できます。これを水平周波数と呼びます。単位はkHzです。
- OS(オペレーティングシステム)上で、グラフィックカードの解像度または周波数がモニターの許容範囲内かを確認し、推奨される(最適な)解像度に設定してください。
  解像度：以下の順に選択し、メニュー内の**解像度**を変更します。
  - Windows 7：[コントロールパネル] >[画像の解像度の設定]
  - Windows 10：[設定]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]

  垂直周波数：以下の順に選択し、メニュー内の**画面のリフレッシュレート**を変更します。
  - Windows 7：[コントロールパネル] >[画像の解像度の設定]>[詳細設定]>[モニター]タブ
  - Windows 10 ：[設定]>[システム]>[ディスプレイ]>[ディスプレイの詳細設定]>[アダプターのプロパティを表示]>[モニター]タブ

  *選択手順はOSのバージョンによって異なる場合があります。
- グラフィックカードを推奨される（最適な）解像度に設定しないと、文字がぼやけたり、画面がかすれたり、表示画像が表示領域からはみ出したり、表示位置がずれたりすることがあります。
- 調整の手順は、お使いのPCまたはOSによって異なる場合があります。また、グラフィックカードによっては、解像度がサポートされていない場合があります。この場合は、PCまたはグラフィックカードの製造元にお問い合わせください。
- PCやグラフィックカードによっては、解像度 1920 x 1080 をサポートしていない場合があります。この解像度を表示できない場合は、グラフィックカードのデバイスドライバを最新に更新するか、グラフィックカードの取扱説明書やホームページで解像度の対応状況を確認するか、PCまたはグラフィックカードメーカーにお問い合わせください。

画面の色が正常ではない	
色が正常に表示されない	• 信号ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。 • グラフィックカードがスロットに正しく挿入されていることを確認してく ださい。 ※ グラフィックカードの確認をする際は必ずPC の電源をコンセントから抜いて確認してください。 • **[コントロールパネル]** > **[画面]** > **[Menu]** (OS によって異なりま す)から、OS 上の表示色を24bit または32bit のTrue Color に設定してください。
画面上に小さな点が表示される	• 液晶パネルは高精度な技術で作られており、画面の一部にドット抜け (ごく 小さな黒い点や赤、青、緑などの点) が見える ことがあります。これは液晶パネルの特性であり、製品不良、故障ではありません。

音声が出力されない	
ヘッドホン端子に接続した音声機器から音声が出力されない(音が聞こえない)	• OSD ジョイスティックで音量を確認し、調整してください。 • PC のオーディオの出力先を、使用中のモニターに設定します。Microsoft Windows で **[コントロールパネル]** > **[ハードウェアとサ ウンド]** > **[サウンド]** の順に選択して、モニターを既定のデバイス として設定します。 • ヘッドホン端子に外部音声出力機器が正常に接続されていることを確認してください。 • WindowsやPC の再生ソフトウェアの音量レベルを確認してくださ い。 • 変換コネクタでPCのDVI端子と接続している場合は、DVI端子が音声信号の伝送に対応していないため、音声は出力できません。

製品仕様

LCD画面	カラー階調	8 /10 ビットカラーがサポートされています。	
解像度	最大解像度	3440 x 1440 @ 100 Hz (HDMI) 3440 x 1440 @ 100 Hz (DP / USB-C)	
	推奨解像度	3440 x 1440 @ 100 Hz (HDMI) 3440 x 1440 @ 100 Hz (DP / USB-C)	
電源	電源定格	19 V ⎓ 7.0 A	
AC/DCアダプター	出力：19 V ⎓ 7.37 A		
環境条件	動作条件	温度	0～40 °C
		湿度	80%未満
	保管条件	温度	-20～60 °C
		湿度	85 %未満
寸法	モニターサイズ（幅 x 高さ x 奥行）		
	スタンド装着時	809.0 x 568.3 x 260.0 (mm)	
	スタンドなし	809.0 x 358.9 x 91.5 (mm)	
重量（パッケージを除く）	スタンド装着時	6.9 kg	
	スタンドなし	5.0 kg	

仕様は製品の品質向上のため、予告なく変更されることがあります。
~ 記号は交流を意味します。⎓ 記号は直流を意味します。

工場出荷時対応モード（プリセットモード、PC）

（DisplayPort / USB-C）

プリセットモード	水平周波数（kHz）	垂直周波数（Hz）	極性（H/V）	備考
640 x 480	31.469	60	-/-	
800 x 600	37.879	60	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1920 x 1080	67.5	60	+/-	
1720 x 1440	88.739	59.92	+/-	DP / USB-C 1.2 PBP 優先タイミング
3440 x 1440	88.84	59.99	+/-	
3440 x 1440	127.35	84.96	+/-	
3440 x 1440	151	100	+/-	DP / USB-C 1.2 優先タイミング DP / USB-C 1.4 優先タイミング

(HDMI)

プリセットモード	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	極性(H/V)	備考
640 x 480	31.469	60	-/-	
800 x 600	37.879	60	+/+	
1024 x 768	48.363	60	-/-	
1920 x 1080	67.5	60	+/-	
1720 x 1440	88.739	59.92	+/-	HDMI 1.4 PBP 優先タイミング
3440 x 1440	43.76	29.95	+/-	
3440 x 1440	73.63	49.95	+/-	HDMI 1.4 優先タイミング
3440 x 1440	127.35	84.96	+/-	
3440 x 1440	151	100	+/-	HDMI 2.0 優先タイミング

サポートされている周波数以外の入力タイミングを使用すると、応答速度や画質が劣化する恐れがあります。

HDMI タイミング(映像)

プリセットモード	水平周波数(kHz)	垂直周波数(Hz)	備考
480P	31.5	60	
720P	45	60	
1080P	67.5	60	
2160P	135	60	

製品のモデルと製造番号は製品の背面と側面にあります。
サービスを受ける場合に必要になりますので記入してください。

モデル _____

製造番号 _____